

行徳湿地の目標に向けた概念図(案)のゾーン別の利用方法

ゾーン	現在の利用方法	将来の利用方法	安全面の検討
保全ゾーン (仮称)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な保護区内の観察会 ビオトープを目的とした水性植物の植栽 海草類の繁殖実験 汽水湿地の造成 	<ul style="list-style-type: none"> 上北岬と下北岬の間で潮干狩りや水遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 観察会はガイドにより、参加者の誘導と鴨場への立入りを防止する 自由な立入りはさせない
触れあい・体験 ゾーン(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> 干潟の生き物の観察 	<ul style="list-style-type: none"> UFO島へ渡り野鳥の観察や干潟に触れ合う 導流堤を散策しながら野鳥や底生生物の観察や直接触れる 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生以下の子供は、大人の同伴が必要 緑の国と同様に人の出入り管理が必要
緑の国	<ul style="list-style-type: none"> 土日祝日のみ野鳥や植物の観察ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ツリーハウスを建て、高い視点から保護区を眺める 	<ul style="list-style-type: none"> 人の出入り管理が必要
保護区全体		<ul style="list-style-type: none"> 触れ合い・体験ゾーン(緑に国入り口付近)からゆりが浜へ向けてベカ船に乗って移動し、本土へ上陸後、観察会の経路を散策し、セイゴ水道の生き物を観察したあと、観察舎を見学する 	<ul style="list-style-type: none"> 船頭・ガイドにより、水上の安全確保と本土部の散策時の誘導が必要
丸浜川沿い	<ul style="list-style-type: none"> 野鳥の観察や写真撮影 	<ul style="list-style-type: none"> 蓮田や水田づくりの体験ゾーン 文化に出会える場(舟、舟溜り、堰や水路) 	<ul style="list-style-type: none"> 蓮田や水田を作った場合の転落防止が必要